

祝 設立20周年



これまで各地商工会議所で使用されている各地商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークになっています。ロゴは、各地商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト(若さ、情熱、広い視野をもった経営者= Youth,energy,Generalist) を表現しています。

しょうせい 翔生

発行
全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847
<http://www.jcci.or.jp/>

編集
■広報委員会
担当副会長 中塚総一郎
委員長 東口由美子
委員 功 島岡 宏明
鳥湯 裕 田中政明
川口 正彦 秋山 浩志
守岡 正司
岩切 正司



鼓動、YEG魂に響け!

全国の皆さん、大阪全国大会へようこそお越し下さいました。全国九つのブロック大会も大成を納め、すがすがしい面持ちでお集まり頂いたことと確信します。この大会は、唯一全国の仲間が一堂に会す事の出来る一大セレモニーです。

私が行く先々でお話させていただいた「一人一人の心の中に、各単会に、それぞれのブロックに大きな火を灯そうではないか!」というのがまさしく本日は。個々の火が集まり、YEGという名の下に大きくそびえる火柱となり、燃え上がる時なのです。同じ大きな志を掲げた仲間が、集うこの機会を是非、チャンスと捉え「袖触れ合った縁をも活かす!」の魂を忘れる事なく、多くの仲間達と触れ合い、膝を交え、腹から語り、酒を酌み交わし、連携・交流へ、そして生涯の友として長くお付き合いの出来る出合いを求め、この大阪大会を五感フル活用で、満喫して頂ければと思います。

熱き友情のご参集に感謝申し上げます。
ありがとうございます。

第二〇代商青連会長 大脇 唯真

よひこそ、
なにわへ!
九ブロック大会、
ご苦労さまでした!

平成15年2月8日に選考会を行い、結果を商青連ホームページ上に(<http://www.cin.or.jp/yeg/>)公表し、2月9日千葉県柏市で行われる全国会長研修会で発表・表彰します。
(全ての応募事業はホームページ上で案内し、紹介します。)

問い合わせ・提出先
日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
TEL 03-3283-7846
E-mail yeg@jcci.or.jp
担当 西郷・関口

平成12年度に立案した「YEG大賞」が、皆さまの熱いラブコールにより復活します!
「わが青年部のこの事業こそ、今年一番燃えた事業だ!!」この事業を全国に伝えたい!!
そんなユニークでおもしろい事業を募集します。ぜひご応募下さい。

応募締切 平成15年1月15日まで
応募方法 応募フォームを商青連サイトからダウンロードします。資料、写真等(指定フォーマット)を添えメールで送付下さい。
<http://www.cin.or.jp/yeg/>
応募内容 商工会議所青年部が行った平成14年度事業。(但し商青連の事業は除きます。)
「今年度一番と思われる事業をご応募下さい。」

審査委員 全国商工会議所青年部連合会役員、日本商工会議所役員等
表彰内容 大賞 1YEG 表彰状・楯賞金10万円
大脇会長特別賞 1YEG 表彰状・楯
各賞 5YEG 表彰状・楯

**熱い事業で
賞金ゲット!**
来たれYEG大賞!

更新 全国商工会議所青年部連合会
<http://www.cin.or.jp/yeg/index.html>

お待たせの商青連のホームページがリニューアルしました。
各ブロック大会のシットも盛りだくさん。あなたも載っているかも? まずクリックして下さい。



「石垣」記事募集
YEGムーヴメント
全国誌でPR!

全国五二七の会議所情報満載の月刊誌「石垣」では、各地で開催する青年部イベントを大募集しています。あなたのYEGイベントを「青年部インフォメーション」誌上で全国発信してみませんか?

●掲載お問合せ…
日本商工会議所 広報部
koho@jcci.or.jp
TEL 03-3283-7901

平成14年度「翔生塾」を終えて

研修委員会 委員長 杉本 定幸

梅雨真っ盛りの7月4日から5日にかけて、第1部として比叡山は西塔(さいとう)にある『居士林』と言う、唯一広く一般の人々に開放された修行道場で「日常の生活を離れ、自分自身に向き合う時間を持って頂き」、山の豊かな自然と清らかな空気のなかで体験する仏道修行の場に踏み込んでいただきました。

志のある全国各地のYEGメンバーがより多く参加して頂き無事終了できました。これも単に皆様のお力添えがあった事を深く感謝申し上げます。

さて、本年は「立ち止まらな!そして胸を張れ!YEG's be ambitious!」の14年度商青連スローガンのもと、「立ち止まらず、胸を張って」の如く、道を開拓する為に必要な知恵と勇氣と行動力を養う場を求める事が必要ではないかと思い今回の研修を企画し、その中で最終的に強靱な精神力を養い30,000人の為の1人となる“将の将たる人間”として、志を高め人間の持力の向上を目的として開催いたしました。

第1日目は、研修と修行の違いを悟され、普段何気なく行っている行動が如何にダメであるかを思い知らされ、全ての行いは行(ぎょう)であるため、無駄なお喋りは勿論出来ず、また休憩も無く分刻みの生活を味わい、その中で一環していたのは、全ての行を起す時は、手を合わせる事から始まり手を合わせて終わる。移動するときも合掌からはじまり、合掌したままの歩行、また何かを行う前には般若心経のお経を唱えました。

食事の時も一斉の音を立ててはいけなく、またお茶は飲むものでなく最後に器に少しずつ配り、タクアンで器を綺麗にしてそのお茶を飲み干して食事を終了する。無論その間は正座で全員が食事を終えるまで足を崩す事はもちろん、話も出来ません。般若心経を唱えた後、「いただきます」「ごちそうさまでした」と言った日ごろ何となく言っている言葉も、食材だけでなく料理を作っていた方への感謝を、心から示す言葉であることをご教授いただきました。それと如何に普段の食事が楽である事も痛感しました。



赤松 光真所長の講話

には、居士林での汗をそのまま講演を聞いて頂きました。

講演の内容は、21世紀の時流(～2025)を見つめてと言うことで、現在高度情報化で高度技術化が進み、グローバル化(国際化)の時代になり価値観が問われる時代である。少子高齢化により労働力も多様化してくる超高速・超複雑な社会に入っている。この世の中で経営者の選択として、努力をする必要があるということでした。

経営者の選択(努力をする)とは…

変化を読み取る経営者、知恵を出す経営者(+α)、Speedのある経営者、「なあ」は資格無し、即断即決即行、危機感を持つ経営者、「経営の明日が分かる」信念を持つ経営者、経営の戻り場所を作る、経営理念、信頼される経営者

経営理念とは?何か。何のために会社はあるのか=世のため人のためなのか、どのようにするのが正しいのかを考える、すなわち哲人経営者となる(思索する経営者、考える経営者)最後に経済は今年から4～5年はこのような状態が続く、その後インフレになるのではとの事で質疑応答に入り終了しました。



赤松所長と大協会長

第2部終了後引き続き終了式を行い、大協会長より参加された皆さん一人一人に修了証書を手渡し、懇親会へと移動し、締めとして小田原での全国大会の時の歌「夢はあざやかに」を大合唱して【平成14年度翔生塾】を閉塾といたしました。

参加していただいた50名のみなさん本当にありがとうございました。1泊2日の居士林での行の成果が、今すぐ出る人もいれば何年も掛かって出る人もいらっしゃるとお話されましたが、今回自分が経験したことが自分の何かを変えるキッカケとなれば、企画いたしました研修委員会一同嬉しい限りです。

最後に一生に一度の体験として、みなさんの単会・企業の研修に一度はご利用してみてください。一度体験すると世界が変わるかもしれませんよ。 合掌



写経に取り組む参加者



一汁三菜の食事をいただく



起業家魂を学ぶ

火種となれ 青年部

健康な日本創造のために

山口日商會頭と熱く語る
「おどま薩州〜薩摩の不二の魂
〜やかち〜天下をひば〜私
股ばいに



■「元気を旗印に、走ってゆく気構えで歌わせて頂いております」

数はさらに増加し、我々も仲間をふやさねばなりません。今年は設立二〇周年で、さらに地域における原動力・活力として経済力を推進する翼を担う団体を目指し、活動しております。



山口 信夫 日商會頭 大脇 唯眞 商青連會長

■やまぐち・のぶお
日本商工會議所 會頭
旭化成株式会社 代表取締役會長
大正13年生まれ・広島県出身
平成13年7月第17代会頭に就任。就任にあたり「健康な日本の創造」を方針に掲げ、現在も国内外の諸問題、特に中小企業の活性化に向け奮闘中。

■おおわき・ただし
全国商工會議所青年部連合会 會長
有限会社 エスポワール 代表取締役 (婦人服小売)
昭和33年生まれ・鹿児島市出身
県立甲南高校・中央大学と在学中はラグーマン。締めこみ姿で太鼓を叩き「おどま薩州」を謳いあげる姿は有名。全国青年部3万人メンバーに、今日も熱い風を送る。

◆「大したものだよ、負けじ魂 何くそ精神が日本人には大事ですよ」

大脇 ありがとうございます。やはり高度成長の引き金は、日本人の勤勉さと技術の高さとか、そういったものがあつたと思うので、もう二回原点を見直す動きというのが本当に必要な気がいたします。

山口 教育というものは根気強くやらなければならぬものです。継続してください。若い人が今、行動しなければ日本を見失う。

「それでは、いかせていただきます」

本年度恒例 大脇「おどま薩州」で始まった山口日本商工會議所會頭 大脇 商青連會長対談。ウィットに富み温かく誠実な山口會頭の人となり、大脇會長はじめ一同は感服。「青年部は日本を創る火種であれ」山口會頭の言葉に、勇気と力が湧きました。臨時号では対談を少しだけご紹介。対談の全容は二〇周年記念誌に一挙に掲載します。

※おどま薩州 終・拍手

■大脇會長 失礼しました。元気だけが取り柄です。

◆山口會頭 元気が一番ですよ。



YEGスピリッツから、社会・経済・教育、日本人の失くしたもので大いに語り合った (7月25日 日本商工會議所にて)

◆山口 そうなんでしょう。若者が原点を見直さなければいけません。

山口 青年部会員の個々の事業そのものが、まず健全でなくてはなりません。自らを健全にして、他に及ぼしていくことが大事なんですね。自分の時間も犠牲になりますが、貢献は大きい。大変でしょう？一年は。

大脇 はい。自社の基盤整備もしっかりしつつ、出てこないとなかなか。私を含め商青連に出ている人は、役をつとめることを前向きに考えていると思います。

山口 経験しておくかと将来のためにはものすごく大きな財産になりますね。

大脇 はい。ところでワールドカップがありました。スポーツでも日本は、ハングリィさがいまつ欠けているのかなという感じがします。ちなみに私は学生時代ラグビーをやっていました。何が一番成果だったかというところ、勝ち負け、挫折を味わったことです。

■大脇 「やがちゃ天下を股ばいにひっぱすんは、天下を自分の懐にガツと呼び寄せる意気込みです。事あるごとに歌わせていただいています。自分らしさ、ふるさと、自社に誇りを持ってというメッセージです。私が掲げるスローガンは「立ちどまるな。そして胸を張れ。」"We are ambitious"です。この疲弊した状況こそ胸を張って走り続ける。クラーク博士の「大志を持って大いなる夢に挑め」という気持ちも込めています。

ここで我々青年部の概要をご説明させていただきます。まず、会員は三万、全国五二七商工會議所がある中で、今四四五単会に青年部が設置され、三九七単会が商青連に加入しているという状態です。今後各地方で青年部を設置します。市町村合併による統合で減る部分もありますが、設置

山口 自分たちが思う以上に大きな効果があるんですよ。それを見ている人に刺激を、感動を与えますから、それから火がおきて種火になってくる。そして今、若い人たちのバイタリティに期待しているわけです。若い人の力です。若くは直せないですから、頑張ってください。

大脇 はい。この夏私は、翔生塾として比叡山で修行をしました。「きみたちは日本人だ」という誇り、歴史や文化的なものを忘れかけてはいませんか」という内容の講話が印象的でした。



古泉 直前會長



鈴木 副會長



永桶 副會長



中塚 副會長



宗野 専務



お忙しい中長時間にわたり、熱く語り合っていた会頭と會長に感謝申し上げます。二〇周年記念誌には全容を掲載いたしますのでお楽しみに！